

## 奨学資金貸付申請書

平成 年 月 日

宮城県教育委員会 殿

高等学校等育英奨学資金の貸付けを受けたいので、高等学校等育英奨学資金貸付条例第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

学校名 立 高等学校 分校 専攻科 専修学校(高等課程) 全日制 定時制 通信制 科 学科 年 組 (単位制) ( 年4月第1学年入学)

フリガナ				住	(〒 ) 電話番号( ) -				
本人氏名	※ 男・女			印	生年月日 年 月 日生				
フリガナ				住	(〒 ) 電話番号( ) -				
保証人 (保護者等 ・自署押印)	(続柄:本人の )			印	生年月日 年 月 日生				
					職業				
					年収 (税込み)				
					円				
家族 構 成	就学者を除く家族	父母等の被扶養者	続柄	氏 名	年齢	所得の種類	収入・売上金額 (税込み) 万円	審査所得金額 (税込み) 万円	
			父					①	
			母					②	
								③	
								④	
								⑤	
							⑥		
			[①～⑥の計] 世帯合計審査所得金額					⑦	
	就学者		続柄	氏 名	※設置者	※在学学校	※通学別	控除額 万円	
		◎	本人					⑧	
				国・公・私	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学( )	自宅・自宅外	⑨		
				国・公・私	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学( )	自宅・自宅外	⑩		
			国・公・私	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学( )	自宅・自宅外	⑪			
特別 控 除	ア 母子・父子世帯(子女が18歳未満及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等) (一律 万円)						⑫		
	イ 障害のある人がある世帯(公害疾病の認定を受けた障害のある人、常に就床を要する要介護の人等) (1人につき 万円)						⑬		
	ウ 主たる家計支持者が別居している世帯(別居による、住居・光熱・水道・家具・家事用品の実費) ( 万円限度)						⑭		
	エ 長期に療養を必要とする人のいる世帯(6か月以上療養中の人、療養を必要とする人)						⑮		
	オ 火災・風水害又は盗難等の被害を受けた世帯(前年から申込時までに被害を受け、今後2年以上の支出増・収入減の年間金額)						⑯		
	[⑧～⑯の計] 控除額合計						⑰		
学校認定欄	[⑦－⑰] 認定所得金額						⑱		
	認定世帯人員 人						基準金額	⑲	
県認定欄	認定世帯人員 人						認定所得金額		

(裏面)

家 庭 事 情	奨学資金の貸付けを希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することなどを記入すること。			
学 習 に 対 す る 意 欲	(家計急変による貸付けを受けようとする者のみ記入すること。)			
	1 家計急変の事由			
	※    ア 家計支持者等が会社の倒産等により解雇又は早期退職                      イ 家計支持者等が死亡又は離別 ウ 家計支持者等が破産                      エ 病気、事故、会社倒産、経営不振等により著しく支出が増大又は収入が減少 オ 火災、風水害、震災等により著しく支出が増大又は収入が減少			
	2 事由が生じた年月日      平成 23 年   3 月 11 日			
学 習 に 対 す る 意 欲	学校で取り組んでみたいこと、将来の展望などを記入すること。			
本人が未成年者(20歳未満)の場合には、親権者又は未成年後見人が下欄に自署・押印すること。				
親 権 者 等	氏 名	印	本人との続柄	本人の(                      )
	住 所	(〒                      )		

※ 平成30年度 就学支援金等 支給の有無      (該当を○)		有      無	
生徒本人は本校に在学し ( 自宅通学者 ・ 自宅外通学者 ) であることを証明します。			
平成      年      月      日			
学 校 名			
学校長氏名			
印			
担当者氏名		問合せ先電話番号	(                      )      -